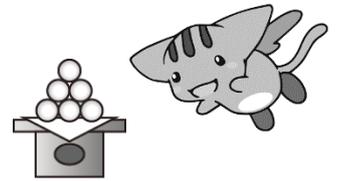


★ 土星



# 9月の星空を見よう



## ☆中秋の名月(十五夜)と土星

今年の中秋の名月は、9月17日です。その夜はちょうど月の近くに土星がポツリとかがやいていますので見つけてみましょう。土星は見ごろをむかえていて、9月の深夜には南の空でかがやいています。

## ☆中秋の名月は満月とはかぎらない

ここ数年は中秋の名月と満月は同じ日でしたが、今年2024年は中秋の名月の次の日(9月18日)に満月となります。どちらの日でもほぼまんまるい月を見上げて楽しむことに変わりはありませんが、今年のように、1日程度ちがうことがよくあります。

新月や満月は、何月何日何時何分、というように日時であらわされます。月が太陽と

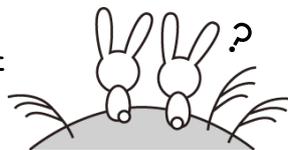
同じ方向になる瞬間は新月、太陽と反対の方向になる瞬間は満月です。新月は朔、満月は望ともいいます。ちなみに今年9月は、天文計算によって、新月(朔)は3日午前10時56分、満月(望)は18日午前11時34分、というように求められています。新月から満月までにかかる日数は、今年9月の場合は、約15日間ということになります。

中秋の名月は、太陰太陽暦(いわゆる旧暦)の日付として決まるものです。太陰太陽暦では、新月となる日を月はじめとしていました。したがって、新月となる日が一日で、次の日が二日、その次の日が三日となって、新月の日から15日後は十六日となります。中秋の名月(十五夜)とは、太陰太陽暦の八月十五日の夜に見える月のことですので、今年9月の場合は満月の日付と1日のずれがある、というわけです。

地球をまわる月の動きは、じつは一定ではありません。月は地球のまわりを完全な円をえがいてまわっているわけではなく、ほぼだ円でめぐっていて、太陽や惑星の引力の影響も受けています。新月から満月までにかかる日数は早いときもあれば遅いときもあり、13.9日から15.6日の間で変化しています。このことから、満月は太陰太陽暦の十四日から十七日になることがあるのです。



中秋の名月(撮影/大川拓也)  
2021年の写真です。この年は8年ぶりに中秋の名月が満月と同じ日でした。



ギャラクシティ  
GALAXY CITY



まるちたいけんドーム(プラネタリウム)  
〒123-0842 東京都足立区栗原一丁目3番1号  
電話03-5242-8161 URL <https://www.galaxcity.jp/>